

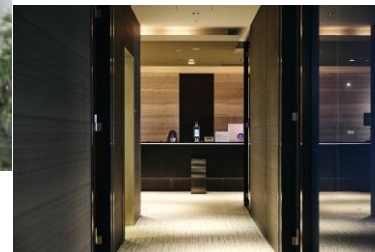
Peppolが輝かせる「主役」たち ～ラック、デジタルインボイスの「自分ごと」化～

2026年3月27日、デジタル庁は、株式会社ラックとの間で、政府調達システム（GEPS）に対するデジタルインボイスでの請求について「振り返り」を行いました。

株式会社ラックは、セキュリティ・バイ・デザインの浸透を目的とした実践研修等の整備・拡充にかかる調査研究に係る業務をサポートしており、その請求について、GEPSに対するデジタルインボイスにて請求を行いました。

「振り返り」では、同社より「デジタルインボイスでの請求は初めてであったため、社内だけでなく、デジタル庁とも請求の流れや入力内容を具体的に確認し、細かく調整を行った。時間はかかったが、疑問点が解消されたことで、デジタル庁のツールからスムーズに請求を実施できた」との感想がありました。

さらに、同社から「次回デジタル庁へ請求を行う機会にも、デジタルインボイスの利用を検討したい。その際は、今回の経験を活かし、より簡潔なコミュニケーションで関係者間の調整及び認識の共有を行えるようにしたい」との話がありました。



株式会社ラック本社（平河町森タワー）及び受付